

令和6年度 作手中学校 教育目標

1 本校の教育目標

友愛・研修・気魄 ～ 共育で育てる活力ある生徒 ～

- 友愛 豊かな心と体をもち、ともに助け合い鍛えあう活力ある生徒
- 研修 目標に向かって努力し、自ら学び自ら考える生徒
- 気魄 夢の実現を目指して努力を惜しまない生徒

2 経営方針

- ア 学校と家庭・地域との連携（互いに信頼し合える関係の構築）
- イ 教師の日々の研鑽（教師こそ最大の教育環境）
- ウ 目的意識をもった行事の企画・運営（生徒の自己有用感の向上と在校時間の削減）

3 重点努力目標

「作中 Acceleration ～愛される学校 やさしく、正しく、たくましく～」

ア 保護者・地域とともにある学校づくり

- ・日頃から保護者や地域の方との連携や情報交換に努め、信頼関係をつくる。
- ・園小中高の連携や地域の方との交流を通じて、地域を愛し、地域に愛される生徒・学校を目指す。

イ 異年齢交流による活動や道徳教育による豊かな心の育成

- ・生徒会活動を中心に縦割り班活動を充実させ、心と心のつながりを育てる。
- ・規範意識、自他の尊重、思いやりを育む「心の教育」の充実を図る。

ウ 考える場と時間を確保し、想いを発信、そして行動に

- ・生徒がじっくり考えたり、自分で判断したりする機会を意図的に設ける。
- ・「trial & error」でよりよい明日をつくる、プログラミング的思考の育成。
- ・自分の想いを発信し、主体的に行動する生徒を育成する。

エ 体力と健康の向上

- ・部活動では、明確な目標をもち、それに向かって努力できるように支援する。
- ・シスタースクール導入後を見据え、自分自身で生活をマネジメントする力を育てる。
- ・心と体の健康を維持するために、生徒との日々の対話をしっかり行う。

オ 教師力の向上

- ・教師こそ生徒の最大の教育環境。教師も主体的に学ぶ姿勢を大切にする。
- ・生徒から信頼される教師であるよう、日々の言動に気をつける。

カ 教育活動の見直しと在校時間の削減

- ・今行っている教育活動の意味を考え、効果を検証し、改善をすすめる。
- ・時間外在校時間の月45時間以内および年360時間以内を厳守し、ゆとりとやりがいをもって笑顔で仕事に取り組める環境を整える。